

令和5年度 横浜市 地域包括支援センター 職員研修

応用編 講義&事例検討

単発での
受講が
可能です

共に生きる地域の創造を目指して、
今、ソーシャルワーク力を高める!

複雑・多様かつ複合的な課題を抱える当事者・家族が増え、
生きづらさの広がる地域社会。地域包括支援センターには、
誰もが共にしあわせに生きることができる社会を
目指した地域づくりが期待されています。

今こそ社会福祉士、主任ケアマネージャー、保健師等3職種の力を
結集し、ソーシャルワークのスキルを高めていきましょう。

第1回

9/19(火)
13:30-17:00

地域包括支援センターが、
ヤングケアラーを知る

地域に潜在化するヤングケアラー
誰をケアし、どんな課題を
抱えているのか!?

立命館大学産業社会学部
教授 齋藤真緒氏

第2回

10/23(月)
13:30-17:00

Inclusion を意識して
障害児者との地域共生を

ダブルケアラー・8050
障害児者の存在に
地域包括支援センターはどう対応する!?

埼玉県立大学
名誉教授 朝日雅也氏

第3回

12/1(金)
13:30-17:00

人生100年時代の高齢福祉を拓く!
地域包括支援センターの
高齢福祉現場での期待

ポピュレーションアプローチ&
ハイリスクアプローチ
今、自らの取り組みを検証する!

東京都健康長寿医療
センター研究所
副所長 藤原佳典氏

第4回

12/22(金)
13:30-17:00

事例検討①
地域包括支援センター職員が行う
事例検討の意義

複雑・多様かつ複合的課題を抱える
当事者・家族・地域に向き合う
包括になる

相模女子大学人間社会学部 社会マネジメント学科
准教授 松崎吉之助氏
事例提供者 | 中山菜穂氏 | 市之宮美穂氏 | 長井侑佳氏

第5回

1/29(月)
13:30-17:00

事例検討②
検証! 3つの事例検討による

個別支援と地域支援を連動
支援困難ケースの構造理解と対応
次世代型地域福祉の実現

対象 基礎研修受講済みまたは、現職1年以上の地域包括支援センター職員

会場 ウィリング横浜

横浜市港南区上大岡西1丁目6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内
京浜急行 / 横浜市営地下鉄「上大岡」駅 徒歩3分

- ・会場が変更となる場合があります。事前に HP でご確認の上、お越してください。
- ・定員に達しない場合は、締切後も随時募集致しますので、事務局へお問合せください。
- ・全回受講が望ましいですが、諸事情により欠席の場合は、事前にご連絡ください。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止・延期・カリキュラムを変更する場合があります。

申込方法

必要事項を記入の上、WEBフォームまたはEメールよりお申込みください。(裏面参照)

受講料
無料

定員各回
60名

申込締切
9/13(水)

WEB
フォームは
こちらから



本研修は、横浜市の委託により、特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センターが実施します。

第1回

9/19 火
13:30-17:00

会場 ウィリング横浜
503 研修室

地域包括支援センターが、ヤングケアラーを知る

地域に潜在化するヤングケアラー 誰をケアし、どんな課題を抱えているのか?!

本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子ども、「ヤングケアラー」が社会問題となっています。ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題であること、本人や家族に自覚がないといった理由から、表面化しにくい状況です。身近な地域でヤングケアラーの理解を深め、見守り、適切な支援につなげる環境をつくることが求められています。

講師

立命館大学産業社会学部
教授 斎藤真緒氏



第2回

10/23 月
13:30-17:00

会場 ウィリング横浜
127 研修室

Inclusionを意識して障害児者との地域共生を

ダブルケアラー・8050 障害児者の存在に地域包括支援センターはどう対応する?!

知的障害・身体障害・精神障害。障害児から障害高齢者まで、地域には、その障害の重さや見える障害、見えにくい障害まで、さまざま人が暮らしています。家族養育力・介護力の脆弱さが課題となって久しい今、障害福祉と高齢福祉が共に、協働し個別支援・地域支援を行うことが不可欠な場面が増加しています。

講師

埼玉県立大学
名誉教授 朝日雅也氏



第3回

12/1 金
13:30-17:00

会場 ウィリング横浜
901 研修室

人生100年時代の高齢福祉を拓く!

地域包括支援センターの高齢福祉現場での期待

ポピュレーションアプローチ&ハイリスクアプローチ今、自らの取り組みを検証する!

人生100年時代を迎えた今、高齢者介護の問題と共に、高齢者の健康をいかに守り、持続することを実現するかは、重要な2大テーマと捉える必要があります。地域包括支援センターには、高齢者理解を適切にすることと共に、その対象によって、どのような支援が必要であるのかの見極めと具体的な支援力が求められます。

講師

東京都健康長寿医療
センター研究所
副所長 藤原佳典氏



第4回

12/22 金
13:30-17:00

会場 調整中

事例検討①

地域包括支援センター職員が行う事例検討の意義

複雑・多様かつ複合的課題を抱える当事者・家族・地域に向き合う包括になる

講師

相模女子大学人間社会学部
社会マネジメント学科
准教授 松崎吉之助氏



第5回

1/29 月
13:30-17:00

会場 ウィリング横浜
121/122 研修室

事例検討②

検証! 3つの事例検討による

- 個別支援と地域支援を連動
- 支援困難ケースの構造理解と対応
- 世代型地域福祉の実現



支援困難なケースと向き合いつつ、個別支援・地域支援を連動させ、共に生きる地域社会を創ることは容易ではありません。しかし、リアルな、今、地域包括支援センターが向き合うケースを現職の皆さんで検証し、検討することによって、支援の糸口を見出し、ソーシャルワーク力の向上を目指しましょう。

事例提供者

新橋地域ケアプラザ
社会福祉士 中山菜穂氏

東寺尾地域ケアプラザ
主任ケアマネジャー
市之宮美穂氏

常盤台地域ケアプラザ
保健師 長井侑佳氏

申込方法

メールまたはWEBフォームからお申込みください。

※メールの場合は
下記1~10までの必要事項を明記してください。

必要事項

1. 参加希望日
2. 申込者氏名(ふりがな)
3. 所属団体名(施設名または区・課名)
4. 所属団体の所在地(区名のみ)
5. 電話番号
6. Eメールアドレス
7. 年代(20代/30代/40代/50代/60代以上)
8. 職種(社会福祉士/主任ケアマネジャー/保健師等)
9. 福祉職/看護職経験年数(年)
10. 現職経験月数(年) ※お申込み時

WEBフォーム

<http://yresearch-center.jp/R5-ouyou/>

Eメール

hokatsu@yresearch-center.jp

【お申込み/お問い合わせ】

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター(担当:手塚)

TEL:045-228-9117(受付9:00-17:00) 横浜市中区住吉町2-17 金井ビル201号

